

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第1区分
 【発行日】令和6年4月4日(2024.4.4)

【公開番号】特開2023-76963(P2023-76963A)
 【公開日】令和5年6月5日(2023.6.5)
 【年通号数】公開公報(特許)2023-103
 【出願番号】特願2021-190014(P2021-190014)
 【国際特許分類】

H 0 1 R 1 3 / 5 8 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【 F I 】

H 0 1 R 1 3 / 5 8

【手続補正書】

【提出日】令和6年3月27日(2024.3.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【0038】

第2屈曲経路82と電線33との間のクリアランスは、第1屈曲経路81と電線33との間のクリアランスよりも小さい。例えば、第1屈曲経路81と電線33との間のクリアランスは、前後方向において第1屈曲経路81と電線33との間に生じる隙間である。第2屈曲経路82と電線33との間のクリアランスは、前後方向において第2屈曲経路82と電線33との間に生じる隙間である。例えば、図7に示すように、第2屈曲経路82と電線33との間のクリアランスは、ほぼ生じておらず、第1屈曲経路81と電線33との間のクリアランスよりも小さくなっている。これにより、第1屈曲経路81よりも第2屈曲経路82において電線33の前後方向へのガタ付き(振動)を抑え易くなる。そのため、電線33と端子金具31との接続部分37への負荷を抑えることができる。

30

【手続補正2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図7

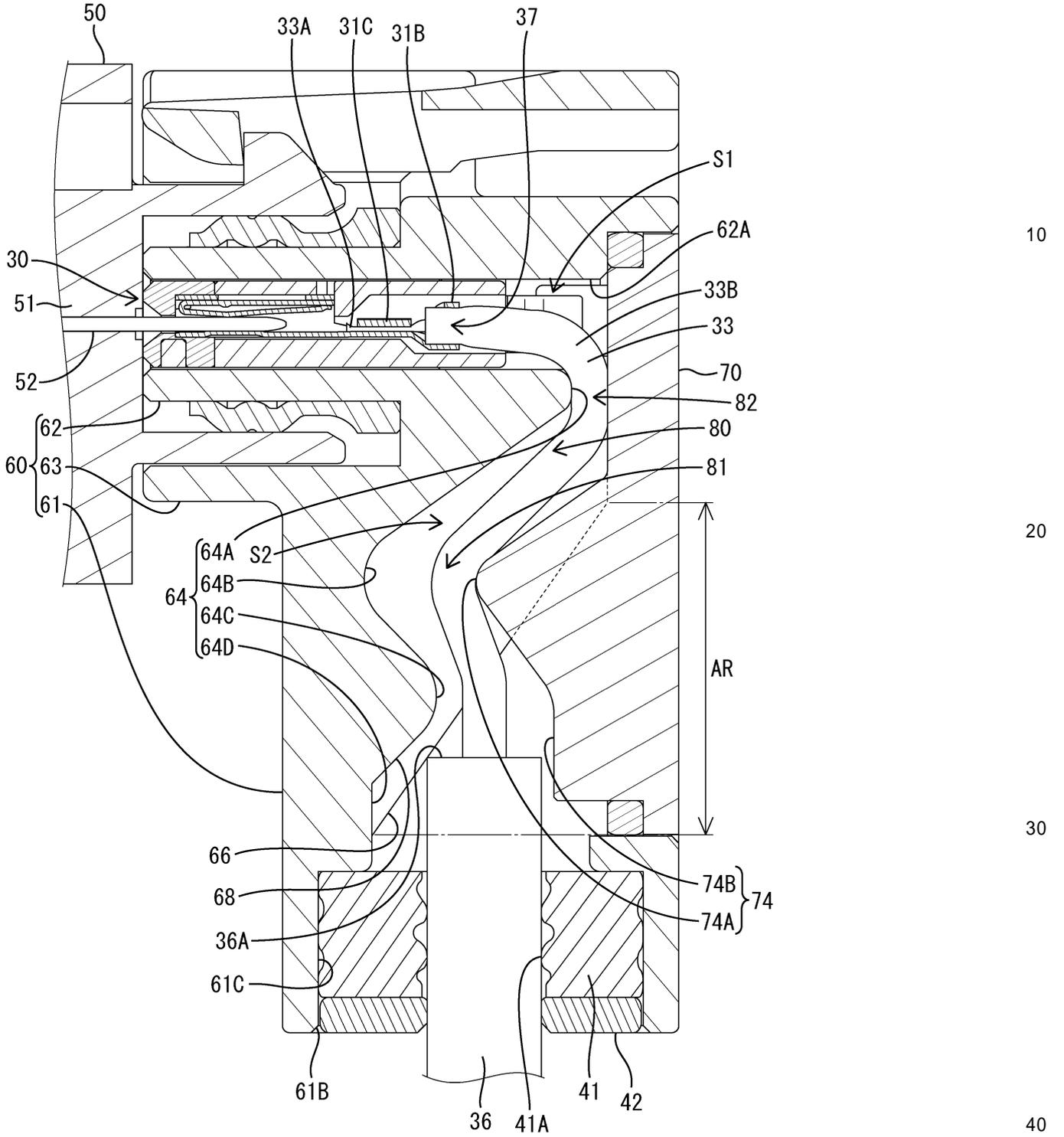
【補正方法】変更

【補正の内容】

40

50

【図 7】



10

20

30

40

50